

課 程 等	ディプロマ・ポリシー
工 芸 科 学 部	<p>工芸科学部では、「教育研究上の目的」に掲げた「幅広い教養と高い倫理性を有し、自らの構想力と遂行力・リーダーシップによって、21世紀の産業、社会、文化に貢献できる国際的な理工系専門技術者 (TECH LEADER)を養成すること」を達成するために、以下に掲げる「工織コンピテンシー」(本学卒業生として有すべき能力)を定めています。</p> <p>この工織コンピテンシーおよび各課程のディプロマ・ポリシーに則った知識と能力、実践力、グローバルな視野とリーダーシップを備えた学生を、国際的に活躍できる理工系高度専門技術者 (TECH LEADER)となりうる人材と認め、「学士(工学)」(応用生物学課程においては「学士(農学)」)の学位を授与します。なお、卒業認定を受けようとする学生は、本学通則および工芸科学部履修規則に定められた修業年数以上在学し、卒業要件となる単位を修得していなければなりません。</p> <p>学部 ディプロマ・ポリシー(工織コンピテンシー)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 専門性 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自らの学習領域においての高度な専門知識・技術を有している。</li> <li>・ 新しい技術を国内外から学び、改善・発展する能力を有している。</li> </ul> </li> <li>■ リーダーシップ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多様性の中でビジョンを掲げ他者を巻き込みながら目的を達成する能力を有している。</li> <li>・ 強い自己肯定感を持ち、新たな環境下で忍耐力をもって、チャレンジし、チームを課題解決に導く能力を有している。</li> <li>・ 言語・文化・習慣など価値観の異なる多様な人々と、建設的な議論と他者支援を行い、成果へと導く能力を有している。</li> <li>・ 課題の本質を見極め、その解決に向けた計画を立案し、論理性を持った説明により、他者の理解を得て、実行する能力を有している。</li> <li>・ 社会の情勢や時代の潮流を見極め、経営マインドをもって物事にチャレンジする能力を有している。</li> </ul> </li> <li>■ 外国語運用能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 母国語以外の外国語で社会生活での話題について会話をを行い、表現をする能力を有している。</li> <li>・ 海外から多様な情報や先端技術を自ら収集するとともに、習得した専門知識・技術について外国語で論述できる能力を有している。</li> </ul> </li> <li>■ 文化的アイデンティティ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生まれ育った国や地域の伝統文化・習慣や歴史、宗教等についての知識を有している。</li> <li>・ 言語や文化習慣、宗教など価値観の違いを柔軟に受け入れて円滑にコミュニケーションができる。</li> </ul> </li> </ul>
応 用 生 物 学 学 域	<p>応用生物学課程では、生物学と生化学に根ざした多面的・先端的手法によって動物・植物・微生物など様々な生物を解析することができ、人間生活の健全で持続的な発展に寄与できる次世代型ゼネラル・バイオテクノロジストの素養を身につけていることが認められれば、学士(農学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生物(動物、植物、微生物)のしくみを理解している。</li> <li>2. 生物の構成要素(タンパク質、核酸、脂質、糖)を理解している。</li> <li>3. 生物の構造変化(発生、老化)や物質変化(代謝)を理解している。</li> <li>4. さまざまな先端バイオテクノロジー(遺伝子操作、細胞培養、顕微鏡等のナノテクノロジーなど)を修得している。</li> <li>5. 生命現象に関する新たな知見に対応し、応用できる能力を修得している。</li> </ol> <p>となります。これらが満たされているかは、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)と卒業研究の成果によって判定されます。</p>
物 質 ・ 材 料 科 学 学 域	<p>学部のディプロマ・ポリシーに加えて、人間的に広く深い素養と自覚を持ち、自然科学をベースとして物質、材料、高分子材料、および機能物質の化学と工学に関する十分な基礎的知識と応用能力を身につけ、将来の地球環境、国際社会、地域産業に貢献できる人材としての素養を有していることが認められれば、学士(工学)の学位が授与されます。</p> <p>本課程のディプロマ・ポリシーを具体的に記すと、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自然科学の基礎知識を身につけている。</li> <li>2. 物質、材料、高分子材料、および機能物質の化学と工学に関する十分な基礎的知識と応用能力を身につけている。</li> <li>3. 卒業研究又は卒業プロジェクトを通じて、将来の技術革新に対応できるような基礎・専門知識とその応用能力を身につけている。</li> <li>4. 将来の地球環境、国際社会、地域産業に貢献できる人材としての素養を有している。</li> </ol> <p>となります。学位の授与は、科目群毎に設定された課程の卒業に必要な条件(履修規則別表第4「卒業認定に必要な単位数」参照)、および卒業研究又は卒業プロジェクトの成果によって判定されます。</p>

